



よ ば てんびょう 四つ葉点描

きょういくもくひょう 教育目標 「美しく生きる」



四日市市立中部中学校

令和6年2月14日

第23号



「アート」と他者意識

続・アート(芸術)がもたらす3つの効果

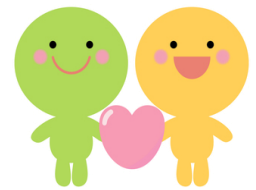
前号では、アートがもたらす3つの効果に「① 美意識を使った判断力が磨かれる」「② 自由な発想を得られる」の2つを書きました。普段の生活の中で、「アート」は遠い存在と思うかもしれませんが、実は、案外近いところで、「アート」な振る舞いが求められています。いよいよ、今回は3つ目の効果です。

周りの人を大切にできるようになる

自分の考えをまとめ、発表する活動のゴールは、スライドや作文、レポートを作って大勢の前で話す...では、ありません。自分の考えが、世の中の人に伝わるのがゴールです。そうであるならば、スライドの作り方、話し方等は、「誰に対して話をするのか」「相手にとって、わかりやすいのか」を考えなければなりません。

これを「他者意識」といいます。(このことは、テーマ・スピーチの時に話しましたね。)

美意識とは、単に見た目がきれいなことをいうではありません。表面を取り繕うのは、アートではありません。シンプルでわかりやすいほうが、美しい...という例は、たくさんありますよね。「聞かせる相手を考えて、原稿や作品を作る。」「聞いている人の立場を想像して話す。」ことは、簡単に言うと「思いやり」です。相手のことを尊重する気持ちです。



極端なことを言えば、授業中に発言するとき、周囲に聞こえる声で伝わるように話しているか...も、他者意識です。ワークシートに自分の考えを書く時、これを読むのであろう先生に伝わる言葉で、丁寧に書いているのか、それとも俳句よりも少ない文字でクチャクチャッと書いて終わっているのか。これも、読み手である先生に対する「思いやり」です。真剣に応える気持ちです。

(恥ずかしさや、面倒くささを越えたところに、「思いやり」はあるのかもしれませんね。)

手作りの一品物と大量生産で作られた物の値段の違いは、その作品(物)に込められた手間という

ねつりょう ちが 熱量の違いです。その熱量は、作っている様子を見ていなくても、そこはかたなく伝わるものです。あなたのワークシートを見れば、そこに込められた熱量は、当然、読み手に伝わっています。

「アート」「美意識」「思いやり」「熱量」は、同じ線上にあるようです。つまり、『美しく生きる』かどうかです。

2月6日 コミュニティスクール 学校運営協議会を開催しました。

こんねんどさいご がっこううんえいきょうぎかい かいさい 今年度最後の学校運営協議会を開催しました。今回は、今までの中部中の教育活動を振り返り、せいかに ほうこく 報告しました。その後、学校評価アンケートのこうさつを し、今年度のそうかつ総括を行いました。



いいん みな 委員の皆さんからは、せいと ほごしや 生徒と保護者のアンケートへのかいとうの ちが 違いや、たか 高い評価、ひく 低い評価にちゅうもく注目しながら、中部中学校の教育についてさまざまないけん意見をいただきました。

いただいたご意見

- ◆ 中部中の学校教育目標「美しく生きる」を核に、普段の授業はもとより、キャリア教育、人権学習、道徳教育、クラブ活動、修学旅行、自然教室、体育祭、文化祭まで、「自律」とは何かを考えさせながら、1年通して学ぶ姿を見させていただきました。今後、子どもたちが生きていくうえで大きな糧になることを期待しています。
- ◆ 子ども同士の意見の出し合い、交換などの機会を増やし、その中で自分を磨き、自分はどうあるべきか、どうなりたいのかを追求する環境を作っていたいただいたと思います。また、周りを見渡す余裕、意見が違う場合でも尊重する姿が素晴らしいと思います。
- ◆ 体育祭、文化祭では、この瞬間を一緒に楽しみたい、一致団結して頑張ろうという気持ちが伝わり、キラキラした笑顔がみられました。体育祭では、競技に工夫が見られ、誰もが楽しめるものでした。縦割りの活動では、3年生のリーダーシップも見られ、新しい時代を感じました。
- ◆ 地域中心の体験活動は、大変良いと思います。多様な体験活動をお願いしたい。
- ◆ LGBT s、ヤングケアラーへのアンテナを高くてほしい。

たくさんのお話を聞くことができた有意義な時間でした。いただいたご意見を励みに、来年度の学校運営の充実に取り組みます。今年1年、ありがとうございました。